

はじめに

みなさんの学校の音楽室には、何種類の楽器がありますか？ ピアノ、大だいこ、木琴、タンバリン、トライアングルなど、いろいろな楽器があると思います。今度、音楽の先生といっしょに何種類あるか数えてみましょう。

それでは、次の質問です。世界中には、何種類の楽器があると思いますか？ ヴァイオリン、ギター、トランペット、ドラムセット、箏など、世界には数千種類の楽器があります。でも、本当は数えきれないくらいたくさんあるともいわれています。

さて、この本では、学校にある楽器をはじめ、世界中のいろいろな楽器のひみつを紹介します。気になる楽器があったら、ぜひ自分でも調べてみましょう。

さあ、ワクワクするような楽器のお話が始まりますよ～！

（青藤 忠彦）

みなさんは、楽器にふれたり、楽器を演奏したりすることは好きですか。また、楽器の演奏をきくことは好きですか。理由はいろいろあると思いますが、きっと「楽器から音が出ること」にもおもしろさを感じたり、興味があつたりするのではないのでしょうか。

小学校の音楽の授業で演奏する楽器はかざられていますが、世界にはたくさんある楽器があります。実は、みなさんが演奏している楽器にも、さまざまな歴史があります。そして、「なぜ音が出るのか」「どうして〇〇のような音が出るのか」などのひみつもあります。

それを知ると、楽器を演奏することがもっと楽しくなるかもしれません。

この本では、青藤忠彦先生といっしょに、世界のいろいろな楽器の歴史やそれぞれの地域でどのように親しまれているのかをご紹介します。また、その楽器から出る音のひみつについても教えますので、きっと楽器に対する見え方が変わることでしょう。

そして、みなさんがこの本に出合ったことで、身のまわりにあるものが楽器に見えるようになるかもしれません。まわりの人に迷惑がかけられないように気をつけながら、いろいろな物を打ったり、こすったり、ひいたり、ふいたりしてみてください。

みなさんのふだんの生活や街の中にも、いろいろな音がかくれていますので、その音にも興味を持ってくれたらうれしいです。

（平野 次郎）

もくじ

はじめに……………2
楽器って、どうして音が鳴るの？……………4

音楽室にある楽器

世界の学校、どんな楽器を習う？……………6

ピアノの正式な名前は

クラヴィチェンバロ・コル・ピアノ・エ・フォルテ！……………8

オルガンはピアノよりもずーっと昔からある！……………10

トライアングルは三角形じゃなかった!?……………12

木琴は、アフリカで生まれた？……………14

ソプラノリコーダーは、2種類ある！……………16

クラブ活動で使う楽器

和だいこは、縄文時代からあった!?……………18

ことの楽譜は、数字で書かれているの？……………20

マーチングバンドと吹奏楽、オーケストラって、何がちがうの？……………22

いろいろな楽器

ヴァイオリンのなまをくらべてみよう！……………24

オーケストラの楽器の場所は、決まっているの？……………26

日本とヨーロッパの楽器をくらべてみよう！……………28

日本の音の出るおもちゃで遊ぼう！……………30

QRコードの使い方



（注意）

●インターネットに接続できるタブレットやスマートフォンを用意してください。●カメラではQRコードが読み取れない場合があります。その場合は、QRコードリーダーをダウンロードしてください。●サイトは予告なく変更・終了する場合があります。●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。●本を買った人も、学校や図書館で借りた人もきくことができます。●20ページのこの本の曲の、ナクソスのウェブサイトではなく、YouTubeに移動し、最後まできくことができます。

QRコードがあるページは、そこで紹介した楽器を使った曲を無料で30秒、試聴にきくことができるよ。タブレットなどでQRコードを読みこんで、きいてみよう！

- ①カメラまたはQRコードリーダーを使って、QRコードを読み取る。
- ② 特設ページに移動し、表示されたリストの曲のURLをクリックすると、「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」のウェブサイトに移動する。
- ③ 開いたページの「選択曲を試聴」というボタンをクリックする。
- ④ 別ウィンドウが開き、「無料体験を開始」「再生」ボタンをクリックする。

世界の学校、 どんな楽器を習う？

日本では、みんなで合わせて演奏しやすい楽器を習う！

小学校の音楽の授業では、歌ったり、楽器を演奏したりしているよね。実は、音楽の時間にどんな楽器を習うのか、どうやって学ぶかは、国によってぜんぜんちがうんだ。

日本の小学校では、音楽の授業でけんばんハーモニカを使う学校がたくさんある。けんばんハーモニカは小さくて、みんなが自分のペースで練習できるし、音のちがいが分かりやすいから、子どもたちが最初に練習するのにぴったりなんだ。

日本の学校では、ほかにもリコーダーなど、息を使った、みんなで合わせて演奏しやすい楽器を習うことが多いんだって。



日本

けんばんハーモニカ

オルガンとハーモニカのいいところ！

ピアノみたいな白と黒のけんばんをおしながら、息をふきこんで音を出す楽器。1940年ごろの日本の小学校では、オルガンとハーモニカを授業で使っていたけれど、オルガンは数が少ないし、ハーモニカは正確にドレミを教えるのがむずかしかった。そこで、オルガンのようにだれもがひきやすくて、ハーモニカのように全員が持つことができる楽器として、1960年代からけんばんハーモニカが授業で使われるようになったんだ。

けんばんハーモニカは新しい楽器。1950年代後半にドイツで生まれた楽器だよ。



オーケストラの楽器

ベネズエラには、オーケストラを体験して音楽を学ぶ「エル・システマ」という制度がある。ヴァイオリンやトランペットなどの楽器をそれぞれがたんととして、みんなでオーケストラ演奏をするんだ。子どもたちは、無料で楽器をかせてもらって、レッスンを受けられるよ。



ベネズエラ

いろいろな楽器が えらべる！

イギリスでは、トランペットやフルート、ギターや打楽器など、たくさんの中から好きな楽器をえらべる学校が多い。「これをやってみたい！」という気持ちを大切にしているよ。

イギリス



リコーダー

インドネシア、マレーシア、フィリピンなどの国の子どもたちに、リコーダーをとけたり、音楽を教えることができる先生を派けんしたりしている日本の会社がある。リコーダーは、軽くて持ち運びしやすいし、音も出しやすいから、初めての楽器に向いているんだ。



インドネシア

マレーシア



フィリピン



音楽の授業があるのは、あたりまえじゃないんだね。

ヴァイオリンのなかまをくらべてみよう！



オーケストラでも使われるヴァイオリンは、弓で弦をこすって音を出す楽器。細い弦がブルブルふるえて、音が出るよ。実は、ヴァイオリンには、たくさんの中まがあるんだ。形はよくにているけれど、大きさや、出せる音の高さがそれぞれちがっているよ。高い音が得意な楽器や低い音で支える楽器があり、いろんな中まがそろって、音はもっと広がるんだ！



ヴァイオリン

ヴァイオリンは、なかまの中で一番小さくて、高い音が出る楽器。明るくて、よく通る音で、メインのメロディを演奏することが多いよ。オーケストラでは、一番人数が多い楽器なんだ。



ヴィオラ

ヴィオラは、ヴァイオリンよりひとまわり大きい楽器。音は、ヴァイオリンより低くて、あたたく、やさしい感じがするよ。目立ちすぎないけれど、きれいなハーモニーをつくるには欠かせないそんざい。音楽を支える大切な役目があるんだ。



チェロ

チェロは、ヴィオラよりさらに大きくて、すわって演奏するよ。人の声に近い音が出るといわれていて、表情豊かな音が出る楽器なんだ。低い音も、高い音も出せるから、メロディも伴奏もできる。チェロだけで演奏される曲もたくさんあって、いろいろなおとで活かされるんだ。



コントラバス

コントラバスは、ヴァイオリンのなかまの中で一番大きな楽器。大人の身長くらいの大きさがあるから、楽器を床に立てて演奏するんだ。とても低い音が出て、オーケストラや吹奏楽で音楽の土台をつくるよ。



世界一大きいコントラバスは4mにもなるんだ！

